

植て、秋月糞汁澆ぎてよし、冬根廻り芥を置入てよし、

〔重修本草綱目啓蒙二十三〕鈞樟 詳ナラズ

クロモジニ充ル古説ハ穩ナラズ、クロモジハ一名クロモンジヤ、豆州ク、ロモンシ、大和トリキ、越後トリシ、仙臺マツフサ、南部ク、ロトリギ、野州ヂシヤ、信州ビシヤ、同上子ノ、越前フグキ、雲州山

中ニ多シ、小木ナリ、高サ六七尺、木皮淡緑ニシテ黒斑アリ、香氣多シ、皮ヲ連テ牙杖ヤウジニ製シ賣ル、葉ハ細長クシテ堅ク、柯樹ノ葉ニ似タリ、春初未ダ葉生ゼザル先ニ、花ヲ開ク三五簇生ス、淡黄色五辨ニシテ小シ、後實ヲ結ブ、大サ南天燭子ノ如シ、秋ニ至リ熟シテ黒シ、又一種大葉ノ者アリ、又圓

葉ノ者アリ、俱ニ漢名詳ナラズ、

山胡椒

〔重修本草綱目啓蒙二十二〕畢澄茄略○中

附録山胡椒 ヤマカウバシ サルスベリ トツナギ トリツケシハ ヤブ

ケヤキ 泉州 ヤブゴシヤウ 大坂 タマノキ 播州 タンバ 藝州

山野ニ多シ、小木ナリ、葉ハ細長ニシテ尖リ、厚クシテ互生ス、夏葉間ニ小花ヲ開キ、後實ヲ結ブ、形落霜紅ノ實ノ如ニシテ、熟スレバ色黒ク、味辛シ、ソノ形、味俱ニ畢澄茄ニ似タリ、木ヲ折レバ香氣アリ、

桂

〔倭名類聚抄二十〕桂 兼名苑云、桂一名侵計侵二音和名女加豆良

〔箋注倭名類聚抄十〕按爾雅云、侵木桂、說文侵桂也、兼名苑蓋本於此、說文又云、桂江南木略○中 按女

加豆良、香要抄同、本草和名不載、和名爾雅郭注云、今江東呼桂厚皮者爲木桂、樹葉似枇杷而大、白華華而不著子、叢生巖嶺、枝葉冬夏常青、間無雜木、南山經、招搖之山多桂、郭曰、桂葉似枇杷、長二尺餘、廣數寸、味辛、白花叢生、山峯冬夏常青、間無雜木、南方草木狀云、桂生合浦交趾、生必高山之巔、

冬夏常青、其類自爲林、更無雜樹、有三種、皮赤者爲丹桂、葉如柿者爲菌柿、葉似枇杷者爲牡桂、郝懿